

委員からの御意見、御意見に関する事務局コメント及び座長とりまとめ

1. 委員から書面提出いただいた御意見

容量市場の在り方等に関する検討会（第 2 4 回）への意見

令和 2 年 4 月 1 7 日（金）

秋池 玲子

容量市場の在り方等に関する検討会（第 2 4 回）資料について、次のとおり意見を提出いたします。

資料 3 「2020 年度メインオークションにおける需要曲線の原案について」

・確認いたしました。異論ありません。

以 上

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）への意見

令和2年4月21日（火）

秋元 圭吾

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）資料について、次のとおり意見を提出いたします。

資料3「2020年度メインオークションにおける需要曲線の原案についてについて」

- ・これまでに、計算方法や最終的な決定は、最新データを用いること等は合意しており、今回、最新のデータで更新した結果の提示、確認だけと理解しており、提案に賛成致します。

以 上

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）への意見

令和2年4月22日（水）
東京ガス株式会社 石坂 匡史

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）資料について、次のとおり意見を提出いたします。

別添「2020年度メインオークション需要曲線作成要領案」

・p.6に停電単価をお示しいただいたことで、調達量のさらなる適正性を今後議論していく上で重要な情報が示されたと理解しています。

今回ご提案の2020年度メインオークションの需要曲線案について異論はありませんが、次年度以降の調達量の検討のために、別の委員会での同様の試算（※）との関係性を含めて、停電コストの算定方法・算定根拠等について継続して議論させて頂きたい。

※第5回 電力レジリエンス等に関する小委員会 資料2

「更なる供給力等の対応力確保策の検討」 右肩スライド番号 29

以 上

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）への意見

令和2年4月21日（火）

岡本 浩

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）資料について、次のとおり意見を提出いたします。

資料3「2020年度メインオークションにおける需要曲線の原案について」

- ・ 提案された需要曲線について異論ないが、コメントを一点申し上げる。
- ・ 新型コロナウイルスの世界的拡大の影響で各種経済指標等へも大きな影響がでることが想像される。2020年度メインオークションに向けては提案どおり最新指標で需要曲線を作成することで良いと考えるが、今後経済指標が著しく変動するような場合にどう扱うか、追加オークションの手当があれば十分なのか、一度考えておく必要があるのではないか。

以 上

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）への意見

令和2年4月21日（火）

上手 大地

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）資料について、次のとおり意見を提出いたします。

資料3「2020年度メインオークションにおける需要曲線の原案について」

- ・基本的には今回ご提示いただいた需要曲線については、異論ありません。新型コロナウイルスで非常事態宣言が出されている状況、経済への影響が懸念されますので、今後大きく経済指標が変動してしまった場合にはどう扱うかや、追加オークションの手当など、中長期の仕組みを前提に今後も柔軟に検討していただきたいと思います

以 上

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）への意見

令和2年4月21日（火）

小宮山 涼一

容量市場の在り方等に関する検討会（第24回）資料について、次のとおり意見を提出いたします。

資料3「指標価格(Net CONE)の算定について」

・現在の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえると、4年後の実需給年度の指標価格を推計するための諸元(インフレーション率、期待インフレ率他)や、目標調達量のベースとなる供給計画の考え方にも、不確実性が顕在化していることを認識する必要がある。しかし、メインオークションでは現下の情勢の影響への考慮が不十分となるリスクがある一方、そのような情勢下においても、これまでの容量市場の制度設計において、1年前に容量確保契約量の売却を公募するリリースオークションや、追加調達する調達オークションが整備されており、市場で必要な調達量を柔軟に調整できる市場機能を有する設計となっている点を市場参加者等へ周知することも重要であるように考えられる。他方で、今後の事後検証や市場参加者のニーズ等に応じて、必要があれば、需給の不確実性への対処の一環として、実需給1年前のみならず、2年前や3年前でのリリースオークションや調達オークションの開催の有無を検討することも重要であると考えられる。

以 上

<事務局補足>

委員より御意見をいただいた状況は以下の通り。

■資料を確認の上、書面による意見提出（6名）

■資料を確認の上、意見なし（10名）

【委員名】阿部 公哉、安念 潤司、市村 拓斗、加藤 英彰、
紀ノ岡 幸次、上坂 喜人、竹廣 尚之、林 泰弘、
松村 敏弘、圓尾 雅則

2. 御意見に関する事務局コメント

委員より書面提出いただきました御意見につきましては、事務局にて内容の趣旨を承っており、容量市場の検討において参考とさせていただきます。

また、新型コロナウイルス感染症の経済等に与える影響に関する御意見につきましては、事務局といたしましてもその動向、それが電力需要に与える影響等について注視し、適切に対応して参りたいと考えます。

現在のところ、例えば、比較的早い時期から外出禁止等の対策が取られたイタリアでは今年3月最終週の実績で、平日のピーク時間帯における電力需要が前年同期比2～3割の減少を記録している、といった情報もあるなど、国内においても今後、足元の需要の低下は否めないと想定しております。

一方、中長期的な視点では、新型コロナウイルス感染症の沈静化に伴い経済活動は再開されていくであろうと想定されること、また、これまで世界的なグローバル化の流れの中で構築されてきたサプライチェーンについて、各国における自立性という視点がより重要視されるような産業構造の変革も起こり得るのではないかと想像されることから、今回の事態が終息した後の経済動向、それに伴う電力需要の動向に注視し、将来起こりうる様々な事象も含めて、当検討会においても、経済指標や供給計画への影響等も確認しつつ、実需給前年度の追加オークション（調達オークション、リリースオークション）の判断等、継続的に検討を行ってまいります。

3. 大山座長とりまとめ

各委員からは、事務局の需要曲線の提案には異論はなかった。したがって、2020年度のメインオークション需要曲線の原案について、制度検討作業部会に報告するものとする。ただ、経済変動への柔軟な対応については御意見をいただいているので今後の検討の参考にさせていただく。

以 上